

東京 11 発走 15:45

第66回毎日王冠(GII) (3歳以上オープン) 別定

Table with columns for race numbers (桃, 緑, 黄, 青, 赤, 黒, 白), horse names, jockeys, trainers, and various statistics like age, sex, and past performance.

豪華メンバーが集う。天皇賞(秋)の前哨戦。先を占う意味でも見逃せないが、3カ月以上の休み明けが大半。上の難易度は低くない。GI馬は4頭。イストラボニータは早月①着。ダビ②着で4歳世代の代表格。立ち回りのうまさを使え、能力的上がりが目も? スピルバードは昨年同様のス

テップ。鋭い決め手が持ち味だが、脚を余しやすすい脚質。距離も本番の二千がベター。ダノシヤックは稽古の動きから衰え皆無。京都千六向きでも、鞍上のさばきには注目。リアルインパクトは過去当りレ①②④着。先行流れ込み。前走好走馬の見極め。先に触れたGI馬の前走は着外。間隔はあいているが、前走者順が良い馬はチェック。

安田②着ヴァンセンヌは良血賞順。折り合はは終い切れる。同レース③着クラレントは意外。東京コースも好相性。ステファノスは香港GI②着善戦。着実に成長クラブ、4走前0秒2差の⑥を逆転も。エイシンヒカリは8戦7勝。2走で気性面の進境、さらには地方強化な時計も短縮。アンビシャスは唯一の3歳。ここでは迫力不足の気もする。

が、好勝負なら大きな視界。グランデッタは3走前に⑬に完敗。稽古の動きも案外で、使ってから。

△友道師①体調が整わず休養が長くなった。メンバーも強力だし、使ってから。③クラレント ④橋口弘師①予定通りここから始動。左回りだとスッと好位を取れてスムーズだし、千八も大丈夫。④イサイファ (好走可) ⑤小島太師①今回は次を見据えた仕上がりだが、体調は悪くないし、状態も良い。前走は好内

芝1800 東京 良1分45秒台 重1分46秒台

Table with columns for race numbers (1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11), horse names, jockeys, trainers, and various statistics.

①田代助手①香港遠征後はリフ

①大久保龍師①今回はアクシデントなく来たけれど、マイルがベテランな馬場でもやれば、綺

本紙の見解 単騎逃げ確定のエイシンヒカリは8戦7勝。うち千八で5勝。デビュー戦以外はすべて逃げて、超スローの一戦を除けば平均ラップは(59秒0)34秒7。千八のリアルは控える公算が高く、この近似ラップでの単騎逃げはほぼ確実。決着は1分45秒前後(稍重予想)とみだが、次が目標の相手が多く粘り込みに期待。怖いのはイサイファ。





大川浩史

マイラーがマイルに出走... 菊花賞トライアル(セントライト記念・神戸新聞杯)はどちらが菊花賞の結果にどのようにつながっていくのかは不明(今のところ別路線の馬を本命にする予定)だが、注目は菊花賞の出走権を取れなかった馬たち。セントライト記念や神戸新聞杯に出走した馬が直後に1



G1馬が4頭そろった毎日王冠は、目をこらすと相当に不思議な組み合わせ。

デイブインバクトの産駒が計「10頭」もいる。残る3頭は「アグネスタキオン、ダンスインザダーク、フジキセキ」が父なので、これらもサンデーサイレンスの直系系産駒。

全馬がサンデーの孫で、こういうことが起こりえるからサラブレッドは「牝馬」を家族のベースにしているが、デイブインバクトの息子10頭と、そのいとこになる3頭の対戦。

お互い、相手の素性を知らないだけで、実は兄弟といとただけの身内のレース。

でも、母は7頭が外国生まれの輸入馬なので、知らない他人の関係となるのである。

しかし、10頭。兄弟であることに気がつかないのだろうか。ただ1頭。休み明けではない。デイサイファの母ミズナは、モハマド殿下が史上最高の名馬と称えたドバイミレニアムが残した一世代だけのうちの1頭。第2回ドバイワールドCを

000万下で好走するのは秋の恒例行事だ。

セントライト記念(着レッドライエール(東京9R)は超スロイなので着差はつきにくく、着差が小さいこと自体に価値はない。それでも超スローを最後方から外を回って0秒3差なら価値はある。

初の千六だが、兄弟の適距離離は千六千八。ギリギリ二千までだった。母の父セルカークがマイラーなので、これは納得でき。初の千六はプラスに作用すると判断できる。

勝ったシングスピールの近親馬になるこの牝馬の母はトリビュレーション(父ダンチヒ)。

99年の毎日王冠を制したグラスワンダーの母アメリカフロラ(父ダンチヒ)の、1つ下の全妹である。

良血牝馬を世界中に山のよう所有するシェイク・モハマド一族の牝馬は、だいたい世界で知られる名牝であり、すぐ近くに活躍馬が並んでいる。

H・H・シェイク・モハマド殿下は、昨14年の日本の馬主ランキング7位。

ダーレー・ジャパン・ファームの生産牧場ランキングは、だいたい同じような位置の6位。

もっと活躍馬を送り、各種のランキングで上位に登場するかなと思えたが、なんとなく目立たないところにいる。

デイサイファも、ドバイミレニアムの牝馬にデイブインバクトの配合のわりに、かなり地味な存在の6歳馬だが、このGII毎日王冠で好勝負に持ち込めると、秋のG1シリーズの主役に浮上する。

藤本貴久の「喋り」



東京12R サノイチ 原付を駐輪場に置き駅へ向かう途中、ハッと気がつき違和感が。ヘルメット被ったままじゃん！俺：終わつたなあ。現級③着を含めこの舞台を得意とする馬。巻き返す！

競馬人情吉良

私の夕方の散歩コースで、ときどき柴犬(名前はユウジロウ)と歩いているスタさんと会う。67歳、60歳までは食品会社で働き、今は有料老人ホームで働いている。

スタさんとはときどき、ウイーンズ横浜でも会う。老人ホームでがんばっているのは、馬券を買い続けたいからだ。それで週末に休みを取る。

きれいな夕やけの見える空き地で会った。ユウジロウも満足げにおとなしい。

「アベさんが1億総活躍だなんて言ってますね」 「なんだか現実離れしてるセリフに思える」

- ◎毎日王冠優勝馬の前走成績◎
17年サンライズベガサス 宝塚記⑤
18年ダイワメジャー 宝塚記④
19年スパーホーン 準OP①
20年カンパニー 安田記⑧
21年アリバニー 宝塚記④
22年アリゼオ ダービー③
23年カレンブレイクドウ エプソ①
24年カレンブラックヒル NHK①
25年エイシンフラッシュ Q.E.II③
26年エアロミュール 札幌記⑤

そう私が言い、一現実ってのは、メシが食えるか食えないかってことですよ。アベさん、食う心配をしたことないしね」と笑った。

「活躍って言われてもなあ」とスタさんが首をかしげる。「平日に働く。休日に歩いてバス停に行き、バスで駅に行き、電車に乗り、そしてまた歩いてウイーンズへ行く。馬券を買い、祈りながら、画面でレースを見る。ハズれる。クソッ、次はアテるぞ。スタさんおれも、だいたい活躍してると思うよ」

「活躍してますよね」とスタさんが笑った。

毎日王冠だ。3歳アンピシャスが古馬たちに挑戦してきた。勇気を買った。馬単⑦④、⑦⑤、⑦⑥、⑦⑫。

関東



(2015年10月4日終了現在)

Table with columns: 順位, 騎手名, 年令, 所属, ①特別着, ②重賞着, ③着, ④着, ⑤着, 着外, 連対率. Lists race results for various horses and jockeys.